

厳選した素材の体にやさしい唐揚げ

①唐揚げキッチンこはな

東住吉区北田辺4-17-4 ☎06-6713-9987  
11:00~14:00、17:00~20:30 木曜休



町家カフェの心地よさに感動した店主の平山延生さんが、築85年以上の町家をリノベーションしたお店を始め5年。季節ごとに味つけを変えた唐揚げは、常時10種類以上。そうろは国産の高原但馬鶏、揚げ油はヘルシーなごめ油、ランチ(972円~)やお弁当に添えられるサラダには無農薬レタスを使用。昼から日差しがさしこみ、ほっと落ち着ける店内の雰囲気も魅力のひとつ。唐揚げのテイクアウトもOK。

子どもベトナムOKの安心カフェ

②HONU COFFEE

東住吉区西今川2-16-21 ☎06-7710-6746  
月~金9:30~17:00 土30~15:00 日祝日休

「仕事途中の作業着のおも、お年寄りも、子どもも、障害のある人も、誰もが気軽に立ち寄れるハワイのローカルカフェのような店にしたかった」と店主の上田裕紀さん。ゆっくり思いつける広めの空間にこだわって、元皮カバン工場を改装し店を開いた。おすすめは、自家焙煎のコーヒーと特製チーズケーキ(セットで6000円)。地元ママのニーズに合わせ、キッズメニューも用意。ベトナム産の輸入店もOK。



店主のセレクトが光る古本屋

③LVDB BOOKS

東住吉区田辺3-9-11  
12:00~20:00  
月・火・水曜休

ショッピングモールや巨大チェーンに流れるスタイルに抗い、自分の欲しい本、読みたい本が置いてある店を持ちたかったという店主の上林翼さんは、元・銭湯の一角を改装し古本屋をオープン。3年が経ち、店舗拡張のため西今川から田辺に移転し、同じく町家を改装した店で新たな門出を迎えた。写真集や海外のアートブックなど、ここできしか出会えない本が並ぶ店内では、作品の展示や音楽などのイベントも開催。



“包装がかわいい”とインスタ女子にも人気

④松屋

東住吉区田辺2-1-2  
☎06-6621-2675  
9:00~19:00 火曜休



大阪メトロ田辺駅からほど近い、地元の人々に愛される和菓子店のおすずめは、なにわ伝統野菜の田辺大根を使った。その名も「田辺大根」(1個151円)。大根エキスを入れたカルカンに、大根の葉を練り込んだ生姜風味の半饅がサンドされ、ほどよい甘さとさっぱりとした味、大根に見立てたパッケージが評判になり、今では看板商品に。地域に根ざした営業スタイルで、祝いのシーズンには大忙し。



QR code and Facebook check information: Facebookもチェック! 市民共済のよんど担当者が、マップ片手に歩いてみました。詳細はフェイスブックにて!

「大阪名所 じっくりMAP」

〈第14回〉下町探訪”町家と長屋が残るまち”  
-平野区~東住吉区-

Main map showing locations of various spots in Hirano and Higashi-Nishiku districts, including Honu Coffee, LVDB Books, Matsuya, and various museums and temples.

そば粉の挽き方も選べる“そばがき専門店”  
⑤ そばがき屋ぐーちよきばー  
東住吉区松全8-6-4 ☎06-7710-1913  
11:30~17:00 日・火曜休  
かつて文房具や駄菓子を扱うファンションショップだった建物を改装し、同じ屋号で開いたそばがき専門店。店主の吉良美左子(さらふさこ)さんは、そば屋で13年働いた経験を生かし、ひき立てのそば粉のおいしさを味わってもらうため、独自にメニューを考案。お昼の定食(1,350円)では、そばが、カモ汁の前に酵素玄米、おかず、汁物が出る。単品や揚げそばがきなど酒のアテとしてのメニューもあり。

暑い夏をひんやりさせる“幽霊画”  
⑥ 大念仏寺  
平野区平野1-7-26 ☎06-6791-0026  
9:30~16:30 ※「幽霊博物館」は8月第4日曜日  
大阪府最大の木造の本堂がある大念仏寺には、女の幽霊が化したという「亡女の片袖」と12点の幽霊画の掛け軸を所蔵し、毎年8月に1日限定で開館する「幽霊博物館」で公開されている。この点数の幽霊画が見られる機会は滅多になく、納涼の季節も相まってロコミで人気の。5月には大阪市無形民俗文化財指定の「万部(まんぶ)おねり」という行事が行われ、二十五菩薩のおねりを見に来く人が訪れる。

自然と平野環境の歴史に出会える  
⑦ 杭全(くまた)神社  
平野区平野宮町2-1-67 ☎06-6791-0208 9:00~17:00  
大阪市内で最も古い樹齢約千年の大楠が祀られた自然豊かな神社の境内は、その全体が「鎮守の森博物館」とされている。その昔、「平野郷」はまち全体が環濠に囲まれた自治都市で、神社の東側には環濠や土塁の跡が今も残っており、こちらも見所の一つ。毎年7月1日から14日に神社の夏祭りが行われ、12・13日には9台の地車(だんじり)がまちを巡行し、13日夜の雷入の際には、あたりが熱気に包まれる。

商店街にたたずむ大正風建築  
⑧ 新聞屋さん博物館(小林新聞舗)  
平野区平野本町4-12-3 ☎06-6790-0022  
※「新聞屋さん博物館」は毎月第4日曜11:00~16:30  
明治22年(1889)創業、大阪市内で最も古い朝日新聞販売店。現在は別の場所で営業しているが、創業の地でその建物の風情を生かし「新聞屋さん博物館」を開いている。館内には、明治時代の新聞の本紙や配達時に着用されたハッピなど、約200点の資料を展示。毎月1日には、平野のまち情報が満載のフリーペーパー「だんじり新聞」を発行。新聞の読者に配布するほか、館内でもらうこともできる。

日本で唯一の総合工芸施設  
⑫ 大阪市立クラフトパーク  
平野区長吉六反1-8-44 ☎06-4302-9210 9:30~17:00  
火曜休 見学無料 体験教室は2,000円 ※講座の受講や要請料などは要問合せ  
河内木綿や大阪間桐など、世界に誇る手工芸の技術と伝統が伝わる「ものづくり町」誕生。平成11年(1999)に誕生。吹きガラス・キルンワーク・バーナーワーク・ステンドグラス・陶芸・木工・染織・織物・金工の9つの専門工房があり、週に1回の習い事として教室を開催。本格的な設備と専門性も高い講師・指導員も最大の魅力で、初心者から学ぶ。1日体験教室もある。まずは体験教室から参加してみよう。

“平野・町ぐるみ博物館”  
平野区の地域住民がまちの魅力を再発見するために、昭和55年(1980)に市民グループ「平野の町づくりを考える会」を立ち上げ、町内の寺、神社、店舗や個人宅を日時指定で、博物館、資料館として開放する「平野・町ぐるみ博物館」を展開。現在の常設館は15館で、年に1日しか開館しないところもあるので、開館日や時間をHPでチェックしてから出かけよう!

全興寺  
全興寺は地獄体験ができることでも有名。地獄堂の入り口に極楽・地獄度チェックを済ませ、もし地獄ならば怖い間魔様がお出迎え!

新聞屋さん博物館(小林新聞舗)  
地下鉄谷町線開通により昭和55年(1980)に廃止された南海電鉄平野線。平野駅舎はプロムナード平野として整備され、懐かしいチンチン電車のイラストも

おもちゃに駄菓子に地獄堂!?  
⑨ 全興寺(せんこうじ)  
平野区平野本町4-12-21 ☎06-6791-2680  
9:00~17:00 ※あそび稼日は土日の13:00~16:00  
聖徳太子によって薬師堂が建てられ、そこから平野のまちが作られたと伝えられる。境内の一角には駄菓子屋さん博物館があり、昭和20~30年代頃の駄菓子屋のおもちゃを展示。土日には、街頭紙芝居やハイゴマなどを楽しむ。あそび稼日や駄菓子の販売もあり、子どもたちのにぎやかな声が聞こえる。境内には閻魔大王のいる「地獄堂」や石仏が並ぶ「はとけのく」にもあり、外国人観光客の姿も。

江戸時代の風情が残るお屋敷  
⑩ がんこ平野郷屋敷  
平野区加美雑作1-3-19 ☎06-6796-0728  
月~金11:00~15:00、17:00~22:00  
土日祝11:00~22:00 不定休  
※「くらしの博物館」は毎日11:30~22:00  
江戸時代に代々住屋を務めた「辻元家」の屋敷を生かして営業する店舗の一角に「くらしの博物館」があり、衣裳蔵を改装した展示室に辻元家の所蔵品が並ぶ。実際に使われていた茶器や中国・呉州からの渡来物の絵画や小鉢、掛け軸や茶軸、香炉など、歴史を感じられる品々で、当時の暮らしが垣間見える。敷地内の庭には70種類の樹木があり、四季折々の景色が楽しめるので、食事がてら屋敷内の散歩もおすすめ。

遺跡から発掘した出土品がずらり  
⑪ コミュニティプラザ平野(平野区民センター)  
平野区長吉出戸5-3-58 9:30~21:30 年末年始休  
※展示品についての問い合わせ ☎06-6208-9166(教育委員会)  
市民の憩いの場として活用されている施設の1階には、平野区の歴史を感じられる展示コーナーが設けられている。平野区には有名な遺跡が数多くあり、長原遺跡から出土した縄文時代晩期末の土器や加美遺跡からの弥生時代の土器、瓜破遺跡から見つかった飛鳥時代の井戸材など、貴重な出土品の数々が並ぶ。施設の地下には大阪市の埋蔵文化財収蔵倉庫があり、膨大な数の発掘資料が保管されている。

※料金はすべて税込みとなります。